

今夜7(七)より
西成市民館
(西成署ウラ・炊き出し公園前)
毎週金曜日

みんなて"つくろ"う
みんなの会館

越冬闘争に参加を!

夜間学校ニユ

釜ヶ崎夜間学校
西成区萩之茶屋 2-5-23
解放会館2階
釜日労・争議団 付

資本主義の予盾で

マズレ・青カンが

と、一口に言うが...

先週の夜間学校は、「アオカン、アブレと社会主義」釜ヶ崎の上にかぶさる資本主義の予盾」をテーマとして話し合う予定でしたが、裏面の報告にもあるように、なぜ、アブレ、青カンがあるのかについて一言づつ聞いただけで、七時三十分には夜間学校をおわり、後

は、第一回釜ヶ崎越冬闘争実行委員会が開催してたり、越冬討論集会」に合流しました。そんなわけで、今週も先週と同じテーマで話し合いたいと思います。ビラまきを積極的に担当している人達の報告によると、えらく今回のビラ

一二月九日分)は人気が悪かったようですよ。落ちてるのが随分目につきましたから、せつぱり、あまり面白くない話題じゃないのかな。というところらしくて、これは夜間学校存続のキキである、労働者、釜の仲間に見せてられてなんの夜間学校ぞと深く、マ、悩んだわけです。しかし、私達のせりろがまぎくて、ビラの書き方がまぎくて、一見、不人気なように見えるかも知れないけれど、労働者の天下をこの言葉とそりにかける夢、期待はみんなの中にあるのは確かだと思つて、話に参加してもらえれば、ホ

ンマによくわかる話だと思つていんです。社会主義という言葉を使っている字面をみると何やら現実とほじとおく、また、わかりきったことをくどくどしくせつていいる、と思つても知れませんが、釜ヶ崎の、我々のことを世の多くの人達に訴えるためには、世の多くの人達とつながっていくためには、そして一番かんじんなことは、自分の存在をよりよく知り、語るためには、理論、原則を学ぶことも必要だと思つてます。まだしばらく、社会主義をめぐつて続けます。よろしく。今回は、夜間学校の中で、学術的に説明できる人が解説者です。

